

JAMCA ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association



No.15
1997年10月1日

発行 全国自動車整備専門学校協会
 協会事務局 〒160 東京都新宿区大京町31
 ヴィッパ新宿御苑 ☎03-3356-7066
 編集事務局 〒125 東京都葛飾区西亀有3-28-3
 ☎03-3601-2535 FAX03-3601-2988

整備士の地位向上へ全力

群馬・東京両自動車整備専門学校理事長 小倉 基義
 全国自動車整備専門学校協会会長

この度、全国自動車整備専門学校協会の会長に再任されまして、身の引き締まる思いであります。

本協会は、会員校数63校、全会員校に在籍する学生数は約22,000人であり、教育界、自動車産業界の大きな一翼を担っております。ここまでになるには、諸先輩方のご苦労は筆舌に尽くしがたいものがあつたらうと推察致します。これら諸先輩方の努力に報いるためにも、また、これからの本協会と各会員校の発展のためにも精励格勤努めていきたいと思っております。

教科書の改訂作業は順調

ここ2年間で、協会が取り組み解決した事項は次のようなものがあります。1. 履修不足等何らかの理由により卒業認定されない学生が、それ以降補修等の授業により卒業必修単位を履修した場合、卒業認定基準を充足すれば、年度途中でも卒業させ二級自動車整備士試験を受験することができる。2. 車体整備士の養成課程が一種養成施設として認定されたことにより車体整備技術者の育成が確立された。3. 三級学科指導員付与により、学科指導員補助を学校で2年間行えば2級課程の学科指導員となる事ができ、将来性のある優秀な教員確保の道が開かれました。



そして、継続事項としては、教科書編集委員会において、協会発行の教科書の内容を見直した12種類(13冊)の改訂作業を進めており、今年度6種類(7冊)の発行ができました。残っている教科書の改訂作業も順調に進んでおります。

協会発行の機関誌(JAMCAニュース)も4年目を迎え時事に合った誌面を作るために精力的、継続的に活動しております。

高等学校との競合

しかし、今後、社会情勢の変化に伴って当協会でも様々な問題が発生することが考えられます。

その中で現在、問題解決に向けて推進中の事項としては、三級自動車整備士資格付与の高等学校に1年間の教育期間を加え、4年間で二級自動車整備士資格付与の高等学校とする動きがある一方、高等学校を卒業した者に対し、2年間、我々と全く

同じ教育をその学校で実施し、二級自動車整備士養成校とする専攻科設置への動きがあり、既に5校が実施している事を確認しています。

労働条件の改善も必要

この問題に対し、協会の副会長・各理事先生方のご協力を得て、各関係省庁に対する陳情並びに意見交換の場を求めたところ、この件を計画する場合、事前の協会との話し合いの中で実施を検討する方向の状況となっています。

これから先、少子化が進む中で、児童・生徒の急激な減少と過疎・過密の進行で一部の地域では学校の小規模化が進み、特にドーナツ現象の著しい都心部では統廃合が具体化しております。

このような事から、10年以内には自動車整備専門学校の出願数は会員校の定員数を下回ってしまうというデータも出ております。

(2頁左上段へ続く)

CONTENTS

- 2面 OPINION
- 3面 新役員紹介
- 4・5面 特集・研究やぶにらみ
- 6面 北から南から
- 7面 トピックス・地区通信
- 8面 私の教授法・編集後記